



TOTO

ウォシュレット® 一体形便器 施工説明書

「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

必ず実施

便器洗浄水量の設定

便器洗浄ボタンを押すと自動で便器洗浄水量を設定します。

→裏面「**試運転**」**②**便器洗浄水量の設定」を参照

施工業者様へ

試運転を実施してください。

確認①

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L仕様を「大洗浄6L、小洗浄5L」または「大洗浄8L、小洗浄6L」仕様に変更することができます。

→裏面 **洗浄水量の切り替え** 参照

和洋リモデル工法の場合

●大洗浄4.8L、小洗浄3.6L仕様を「大洗浄6L、小洗浄5L」仕様に変更してください。

確認②

確認①で設定変更してない場合

大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。

<p>正常な状態 設定変更は不要です。 (設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。)</p> <p>正常な水たまり面</p> <p>この面まで水がたまっている</p>	<p>水たまり面が低い状態 設定変更を行ってください。 (水たまり面を正常な状態にすることができます。)</p> <p>水たまり面が低い</p> <p>この面まで水がたまっていない</p> <p>設定変更のしかた 裏面「水たまり面が低下した場合の変更方法」をご確認ください。</p>
--	--

(水たまり面の判断に迷ったときは…)
ペットボトルやバケツなどで徐々に水をたし、水たまり面が上昇しない場合は正常です。
※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

リモコン(発電式)の場合

●ウォシュレット本体とリモコン(便器洗浄リモコンも含む)は「組み合わせ設定」されています。同梱以外のものを取り付けしないでください。

リモコンバーコードNo.(8桁)で、組み合わせを確認してください。

リモコン裏面

例)リモコンのバーコード No.12345678の場合

バーコードNo.ラベル

リモコンバーコードNo. 12345678
78901234

便器洗浄リモコン裏面

例)リモコンのバーコード No.87654321の場合

ウォシュレット本体左側面

水たまり面が低下した場合の変更方法は、設定をしている場合は、解除(もとの仕様に戻す)してから **洗浄水量の切り替え** の設定をしてください。
また、**確認①** の設定をしている場合は、**確認②** の設定は不要です。

同梱部品 使用しない場合は、お客様にお渡しください。

<p>リモコン、便器洗浄リモコンはいずれかが同梱されています。</p> <p>リモコン部品</p> <ul style="list-style-type: none"> ねじ①(4本) 固定部品(1個) リモコン(乾電池式) アンカープラグ(4本) 乾電池(単3形×2本) ハンガー ねじ②(1本) 	<p>便器洗浄リモコン部品 (取付説明書付)</p> <ul style="list-style-type: none"> ねじ①(3本) 固定部品(1個) アンカープラグ(3本) 乾電池(単3形×2本) 便器洗浄リモコンハンガー ねじ②(1本) 	<p>止水栓 (フィルター付)</p> <p>※必ず同梱の止水栓を取り付けてください。</p> <p>ロータンクパッキン</p> <p>印刷物</p>	<p>取付ボルト組品</p> <p>取付ボルト(4本)</p> <p>ナット(固定用)(4個)</p>
--	---	---	---

安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

絵表示の例 禁止(⊘)してはいけない「禁止」の内容です。 必ず(⚠)必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

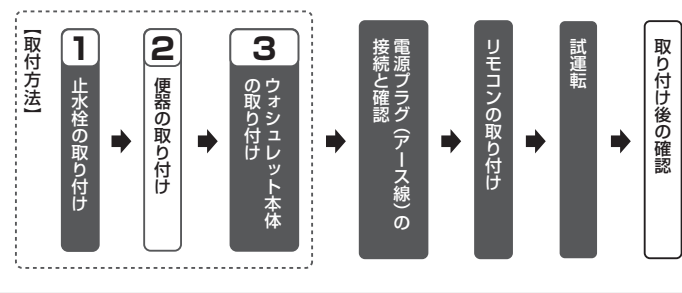
- 浴室など湿気の多い場所には設置しない(火災、感電、発熱、ショートの原因になります。)
- 指定する電源(交流100V)以外では使用しない(火災や発熱の原因になります。)
- 電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない(火災や感電の原因になります。)
- 飲用可能な水以外は使わない(故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。)
- コンセントは給水位置の真下に設置しない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない(結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。)
- 車輻・船舶など、移動体への設置はしない(火災や感電、ショート、故障などの原因になります。)(便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む(プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱・ショートの原因になります。)
- アース(D種接地)を確実に取り付ける(アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。)

注意 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない(ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。)
- 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない(水漏れの原因になります。)
- 止水栓を開けたまま、給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない(水が噴き出します。)
- 施工は施工説明書に従って確実に(正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。)
- 給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める(確実に締めないで水漏れの原因になります。)
- 電池の+表示をよく確かめて入れる(電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。)
- 長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく(電池の液漏れの原因になります。)
- ナット(固定用)(4カ所)を確実に締める(ナット(固定用)がしっかりと締まっていないと、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。)

施工手順 この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けください。

(○は便器、●は本紙の施工説明書を参照ください。)



取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
 2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
 3. ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
 4. 交流100V(50/60Hz)の埋込アース専用コンセント(3Pプラグの場合は、接地コンセント)を使用してください。(電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体のラベルに記載しています。)
 5. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
 6. 電源コードの長さは約1.0mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
 7. 給水圧力範囲は0.05MPa(流動時)~0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いとタンクに水がたまる時間が長くなる場合があります。
 8. 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。
 9. 同梱以外の止水栓を使わないでください。
 10. 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。
- ※ 出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

下記の場合はTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへご連絡ください。
TEL ☎0120-8282-55 FAX ☎0120-8272-99

給水ホースの長さが足りない場合

給水ホース長さ(mm)	品番
785	TCA472

給水ホースの長さは約535mmです。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右図の給水ホースをご購入ください。

●仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取付方法

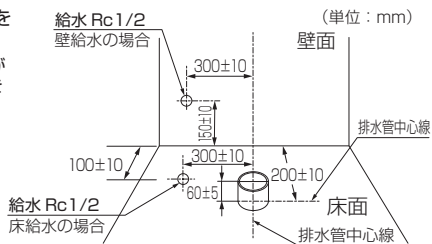
1 止水栓の取り付け

① 給水金具と排水管の位置を決める

※給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

リモデルのときは…

便器の施工説明書の取付範囲を確認してください。



② 止水栓を取り付ける

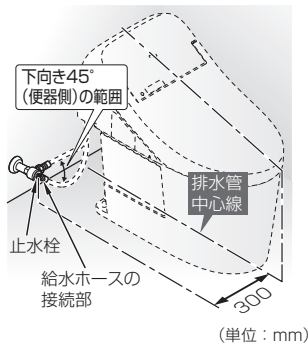
注意

必ず同梱の止水栓（フィルター付）を取り付けてください。



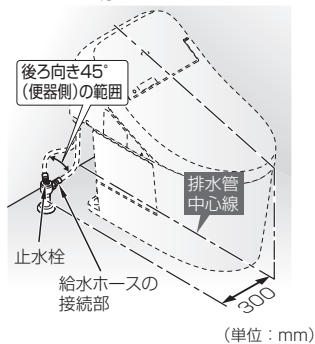
給水ホースがきちんとおさまるように下図の範囲で給水ホース接続部を折れ曲がらないように取り付けてください。

壁給水



床給水

※水抜き方式の場合は、給水ホースの水抜き勾配を確保できるように取り付けてください。

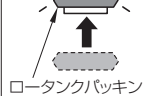


2 便器の取り付け

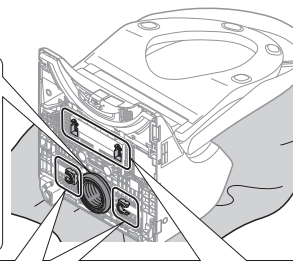
便器部の施工説明書に従い、便器を取り付ける

3 ウォシュレット本体の取り付け

① ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける



奥まで確実に入れる
正しく取り付けないと
水漏れの原因になります。



② ウォシュレット本体底面に取付ボルト(4本)を取り付ける

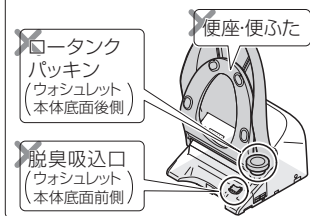


③ ウォシュレット本体を便器に仮置きする



注意

- パッキンおよび給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。ゴミを取り除かなかつたり、ウォシュレット本体をななめにおろすとパッキンがめくれたり、水漏れの原因になります。
- ウォシュレット本体を持ち上げるときは、下図の場所を持たないでください。下図の場所を持つと、便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。



取付方法

3 ウォシュレット本体の取り付け (つづき)

④ ナット(固定用)(4カ所)でウォシュレット本体を固定する

※後側2カ所を先に固定してください。
その後、便座の位置を合わせて前側2カ所を固定してください。

注意

ナット(固定用)を締め付けるときは必ず手で行ってください。
工具を使用すると破損の原因になります。

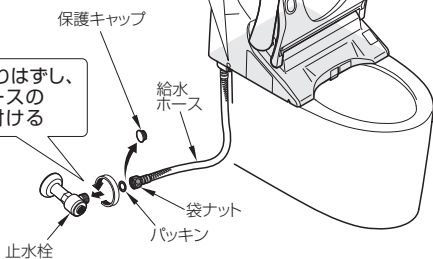
●ナット(固定用)を手締めで回らなくなるまでかたく締め付ける



確認!

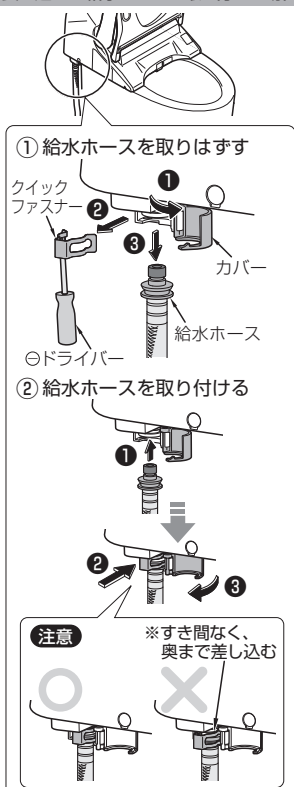
※1 再度、確実に締まっていることを確認してください。
※2 ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

⑤ 保護キャップを取りはずし、止水栓に給水ホースの袋ナットを締め付ける

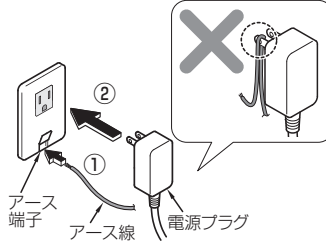


リモデル現場などで、止水栓の位置が異なる場合は製品に取り付けている給水ホースでは長さが合わないことがあります。別途、給水ホースをご購入ください。(表紙「給水ホースの長さが足りない場合」参照)

長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



電源プラグ(アース線)の接続と確認

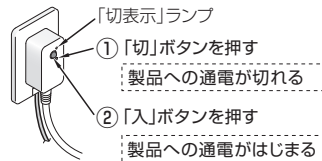


3Pプラグの場合



●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

●電源プラグの作動確認をする



「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

コンセントが電源コードの反対側にある場合

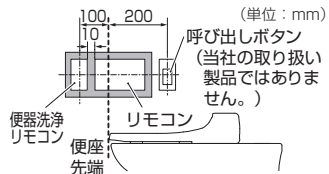


リモコンの取り付け

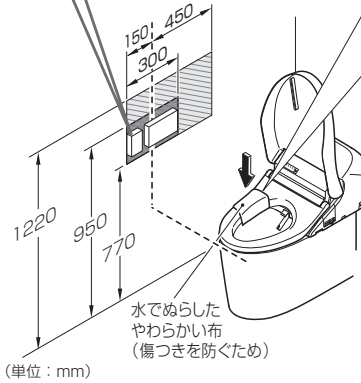
1 乾電池式の場合 リモコンに乾電池を入れる

2 取付位置を決める

便器洗浄リモコンの取り付けかたは、「便器洗浄リモコン取付説明書」をご確認ください。
【公共トイレ操作系JIS(JIS S 0026)に対応する場合の取付位置】



取付位置の目安
使いやすい位置の目安



【作動の確認】

① 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる



② 「おしり」ボタンを押してノズルが伸出することを確認する

③ 「止」ボタンを押す

④ 作動しない場合

→ リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

※ 下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。

- 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
- 天井や壁の色(黒っぽい場合)・形状・材質などの条件が合わないとき
- 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
- インバーター方式の照明下のとき

※ 同梱以外のものを取り付けると作動しません。

- ウォシュレット本体と、リモコンのラベルで組み合わせを確認し、同梱のものを取り付けてください。

(表紙「施工業者様へ」参照)

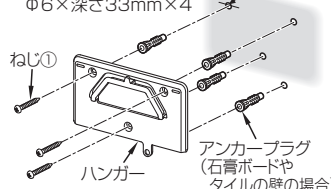
3 ハンガーの取り付け

① の場合 ② リモコンに固定部品を取り付けてセットする

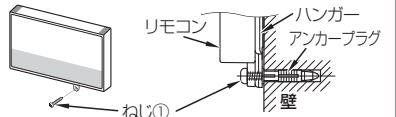
① ハンガーを壁に取り付ける

<下穴>
アンカープラグなし
Φ3×4

アンカープラグあり
Φ6×深さ33mm×4



③ ハンガーとリモコンをねじ①で固定する

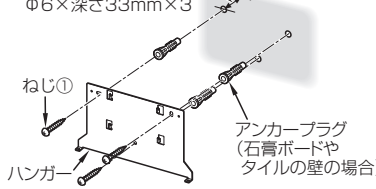


① の場合 ② リモコンをハンガーにセットする

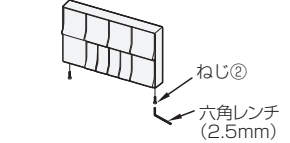
① ハンガーを壁に取り付ける

<下穴>
アンカープラグなし
Φ3×3

アンカープラグあり
Φ6×深さ33mm×3



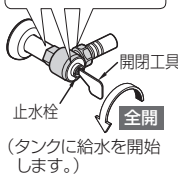
③ ハンガーとリモコンをねじ②で固定する



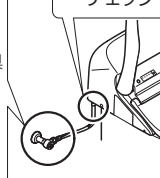
試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

1 ウォシュレット本体の確認

□ 水漏れチェック



□ 水漏れチェック



※ 付属の開閉工具を使用してください。作業が完了したら、必ずお客様にお渡しください。

※ タンク給水中「ヒュー」という音がする場合は、給水圧が高くなっていますので、音が鳴らなくなるまで止水栓を少し右へ回してください。

※ 万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

□ 運転ランプが点灯していますか



□ 運転ランプが点滅していませんか
→ 凍結防止が「入」に設定されています。
※ 仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。

● 凍結防止を「入」にすると、次のように作動します。

運転ランプが点滅・緑色

約5分間隔で便器洗浄



2 便器洗浄水量の設定

■ 本製品は、最初の便器洗浄時に自動で使用環境の水圧条件を計測し、便器洗浄水量を設定します。

■ 設定方法

リモコンの **大** ボタンを押す

⇒ 自動で便器洗浄水量の設定を開始します。

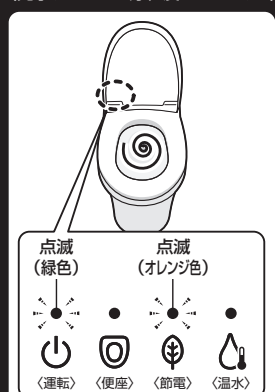
注意事項

- お風呂やキッチンなどの水を使用しない (お客様にもお伝えください。)
- すべてのボタンを押さない
- 止水栓を開閉しない

洗浄水量が正しく設定できない原因になります。

■ 設定中

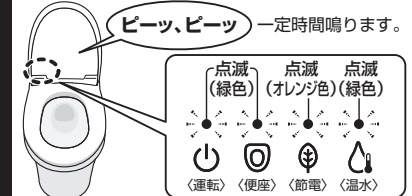
自動で3回または6回連続で便器洗浄します。
(完了するまで5分程度かかります。)



■ 設定完了



右記の場合は再設定が必要です。
(設定が正しくできていません。)



再設定の方法

- ① **止** と **大** を10秒以上押す
- リモコンのランプが全点滅するまで(約10秒)押す。
- ② **便座** を5秒以上押す
(「ピーツ」という電子音が鳴る)
- ③ **止** を押す ⇒ ④ **大** を押す
- ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。
- ① **大** を5回押す
(「ピーツ」という電子音が鳴る)
- ② **水勢** → **水勢** → **音** の順に押す
(「ピーツ」という電子音が鳴る)
(②の操作は20秒以内に行ってください。)
- ③ **止** を押す ⇒ ④ **大** を押す

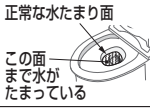
試運転 (各項目を確認後、□に✓してください)

3 機能の確認

- 便器洗浄時にウォシュレット本体底面から水漏れなどの異常がないかを確認しましたか
- 自治体による洗浄水量の規制に合った水量設定を行いましたか
- 水たまり面が低下していませんか
大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。
※「自治体によって洗浄水量の規制がある場合」の設定をしている場合は、この設定は不要です。

詳しくは、表紙 **施工御仕様へ** **確認②** 参照

設定変更は不要です。



設定変更を行ってください。



- ノズルから洗浄水が出ますか
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分かかります。)

4 「おしり」ボタンを押す

5 「止」ボタンを押す

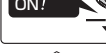
※作動しない場合

組み合わせ設定参照

【作動の確認】

- 2 便座の左側を手で押し、着座スイッチを入れる

スイッチ ON!



3 紙コップ



- 1 水でぬらしたやわらかい布 (傷つきを防ぐため)

組み合わせ設定



の場合 **試運転** 3 機能の確認 で
リモコンが作動しなかった場合のみ、
「組み合わせ設定」を行ってください。

- 設定は1台ずつ行ってください。
- ① 一度電源プラグを抜き、再度差し込む **10回押す** (10秒以内)
- ② 便座の左側を手で10秒以内に10回押す → <設定モード>に入る
- ③ 「止」ボタンを5回押す (「ピッ」という電子音が鳴る)
 - ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。 (傷つきを防ぐため)
- ④ 「止」ボタンを押す → <設定完了>

注意 設定モードに入ってから、約2分以内に設定を行ってください。手順③で電子音が鳴らない場合は、再度手順①からやり直してください。

- 5 もう一度、**試運転** 3 機能の確認 を行ってください。

洗浄水量の切り替え (リモコンで設定を行ってください)

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

● 大洗浄4.8L、小洗浄3.6L仕様を下記水量に変更することができます。

和洋リモコン工法の場合

● 大洗浄4.8L、小洗浄3.6L仕様を「大洗浄6L、小洗浄5L」仕様に変更してください。

リモコン(乾電池式)の場合

リモコン(発電式)の場合

● ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。

大洗浄6L、小洗浄5Lにするとき

大洗浄8L、小洗浄6Lにするとき

大洗浄6L、小洗浄5Lにするとき

大洗浄8L、小洗浄6Lにするとき

① 「止」と「ピッ」を同時に押す

● リモコンのランプが全点滅するまで(約10秒)押す

水勢

② 「+」と「温水」を同時に押す

② 「入切」と「温水」を同時に押す

① 「ピッ」を5回押す

● 「ピッ」という電子音が鳴る

水勢

② 「水勢」→「水勢」→「水勢」の順に押す

② 「水勢」→「水勢」→「音量」の順に押す

「ピッ」という電子音が鳴ります。

③ 「止」を押す※1

③ 「止」を押す※1

(②の操作は20秒以内に行ってください。)

(元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、②で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。)

※1 変更した場合、便器洗浄してから約1分後に便器水たまり面の高さを戻すために水を補給します。

水たまり面が低下した場合の変更方法

● 大洗浄4.8L、小洗浄3.6L、eco小洗浄3.4Lの洗浄水量は変わりません。

リモコン(乾電池式)の場合

リモコン(発電式)の場合

● ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。

① 「止」を押す

● リモコンのランプが全点滅するまで(約10秒)押す

水勢

② 「-」と「温水」を同時に押す

① 「止」を5回押す

● 「ピッ」という電子音が鳴る

水勢

② 「ピッ」→「音量」→「ピッ」の順に押す

(②の操作は20秒以内に行ってください。)

「ピッ」という電子音が鳴ります。

③ 「止」を押す※1

③ 「止」を押す※1

給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除 (試運転後)

【便器側】

1

電源プラグ

止水栓

閉める

2

給水フィルター

ふた

開閉工具

3

全開

2 ノズルを伸出させる ※給水管内の圧抜きです。

の場合

1. 「ノズルそうじ」ボタンを押す、ノズルを伸出させる

2. もう一度「ノズルそうじ」ボタンを押してノズルを戻す

の場合

1. 「止」ボタンを5回押す

● 「ピッ」という電子音が鳴る

2. 「おしり」→「音量-」→「ピッ」ボタンの順に押し、ノズルを伸出させる

● 「ピッ」という電子音が鳴る (2の操作は20秒以内に行ってください。)

3. 「止」ボタンを押してノズルを戻す

● ボタンは「カチッ」と音がするまで押してください。

【ウォシュレット側】

1

閉める

カバ

2

給水フィルター付水抜栓

ドライバー

5

7

6

給水フィルター付水抜栓

歯ブラシなど

2 ノズルを伸出させる ※給水管内の圧抜きです。

(給水フィルター付水抜栓の掃除 (試運転後) 【便器側】 1 - 2 項参照)

カバ

2

水漏れチェック

カバ

水漏れチェック

1

全開

製品引き渡しまでの期間が長い場合

※必ず水抜きをしてください。(故障の原因)

1 止水栓または元栓を閉める

2 タンクの水を抜く
リモコンの「大洗浄」ボタンを押す

3 配管の水を抜く
(給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除 (試運転後) 【ウォシュレット側】 1 - 2 3 4 5 7 項参照)

※電源プラグは抜いたままにしておいてください。

4 水抜きプラグを空回りするまでゆるめる

● ノズル付近から水が出る (水がすべて抜けるまで約3分かかります。)

※水抜きプラグは取りはずしてできません。

(給水フィルター付水抜栓)

水抜きプラグ

左にまわす

ドライバー

■凍結のおそれがあるときは

・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。

(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

水が出なくなるまで待つ

5 水抜きプラグをマイナスドライバーで確実に締め、カバーを取り付ける

1

右にまわす

カバ

施工業者様へ

● 取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡ください。

● ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。

● 新築などお客様に製品を引き渡すまでの期間が長い場合は、止水栓を閉め、電源プラグを抜いてください。

● 連立対応については、(URL) <http://search.toto.jp/contents/navi/> の「施工情報」→「ウォシュレットリモコン連立対応方法」をご覧ください。

● 機種により掲載されていない場合があります。

● 使いかたラベルは、取扱説明書の袋に入っています。お客様に確認を行い、貼り付けてください。